



NPO法人 西東京臨床糖尿病研究会

MANO a MANO

～「mano a mano」とはスペイン語で「手から手へ」という意味です～

会員総数……………856人
 医師……………168人
 コメディカル……………688人
 【管理栄養士紹介登録数 47人】
 平成23年1月20日現在

《目次》

- ◆「インスリンの壁」 住友 秀孝先生……………Page 1
- ◆研究会等の実施報告……………Page 2-3
- ◆研究会のお知らせ他……………Page 4

「インスリンの壁」

当会理事 立川相互病院 内分泌代謝科 住友 秀孝

多摩地区においては各地域の糖尿病基幹病院との病診医療連携が進んでいます。当院においても、2008年末より近隣6市(昭島・立川・国立・日野・東大和・武蔵村山の各市)にてご開業の先生方約50名と糖尿病医療連携を開始しました。当院の糖尿病診療は飽和状態に近く、病状の安定した患者さんを在住地域の先生方に、検診・糖尿病の検査・投薬・治療をお願いするスタイルです。必ず、3～6ヶ月おきに病院を再診していただき糖尿病手帳を確認します。このような循環型(病院と診療所医師の2名主治医制)をとることで、患者さん、ご開業の先生方も安心して診療を継続しています。患者さんを介した顔と顔の見える医療連携を構築・推進するために、「糖尿病診療研究会」と、なにやらわかったような名称をつけ、年2回先生方と一緒に勉強をしています。

さて、連携開始当初から感じる問題は、やはり「インスリンの壁」です。経口糖尿病薬はかなり使い込める先生方でも、インスリン療法中の患者さんをお願いすると、「まった」がかかります……。これは全国的にも同様の傾向と思われます。

この問題を解決するには、実際にインスリン注射と自己血糖測定(SMBG)を体験して頂く会を企画するしかないと考えました。少人数(4名)の先生方に、自院の看護師さん同伴で御参加頂き、医師・看護師チームに分かれた後に畳部屋に座って腹を出します。CDE-J(看護師)よりインスリン・SMBG導入の実際を聴講後に自己注射・自己血糖測定を体験します。2009年より2回実施し、合計医師8名・看護師さん13名に受講して頂きました。

このような会に参加希望の先生方は専門は違えど、するすると実施可能になります。ほとんどの先生方は「注射は痛みも無いし簡単だね・・・」とおっしゃいます。看護師さんチームは、毎回注射デバイスの話から、低血糖時の対応まで、1時間たってもCDE-Jへの質問が終わりません。本年は1月末に第3回目を開催します。自己注射とSMBG体験の他、前回終了時アンケートの要望を取り入れ、診療所外来での模擬患者さんとCDE-Jとのインスリン導入にからんだ会話をロールプレイにて再現し勉強する予定です(モデルケースのない実験的企画です)。さてどうなるやら……。

「インスリンの壁」が低くなり、いつでもどこでも導入可能となる時代が待ち遠しいですね。



研究会等の実施報告

第8回 西東京心理と医療研究会ワークショップ

平成22年11月6日[土]～7日[日]多摩永山情報教育センターにて
開催されました。



当会評議員 朝比奈クリニック院長 朝比奈 崇介
今年も去る平成22年 11月6日～7日に多摩永山情報教育センターで「あなたも糖尿病劇場を作ろう!!」というタイトルでプロの演劇集団である劇団衛星から蓮行さん達をお呼びして第8回西東京心理と医療研究会ワークショップを行った。初日は「演劇を用いたコミュニケーションゲーム」と題して座学や身体を動かしたワークであった。特に文字に表れる「形式情報」とは別の形の情報、つまり行間に眠る「暗黙情報」をどう

やって演技で表現するかという話は興味深い話しであった。

2日目は全体を2グループに分けて「対象」と「表現したい内容」の2点だけを決めて、即興劇をエチュード形式で作成した。このような手法は今後も糖尿病劇場の作成に生かせる内容であり、参加者の興味を満たす内容であった。



第54回多摩北部医療センターとの糖尿病に関する 診療連携の会

平成22年10月18日[月]多摩北部医療センターにて開催されました。

10月18日(月)に多摩北部医療センターにおいて「第54回多摩北部医療センターとの糖尿病に関する診療連携の会」が開催されました。

今回の当番世話人は東久留米市・石橋クリニック・石橋幸滋先生がご担当されました。

一演題目は、さいわい薬局・園田光子様より「症例を通して考える糖尿病患者さんと薬剤師の付き合い方」との演題でご講演頂きました。現場で実践している糖尿病患者さんの療養指導や、アンケート結果等を具体的に提示しながら、より有効な

療養指導の方法について、議論を行いました。

二演題目は、石橋クリニック・星野傑先生より、「精神疾患を抱える糖尿病患者さんの治療～ビクトーザの使用経験～」との演題でご講演頂きました。実際の症例を踏まえ、治療経過等を発表頂きました。

また、各演題において様々な職種から活発な意見交換が行われ、本会は盛況のうちに終了致しました。



第5回南多摩糖尿病教育研究会

平成22年10月25日[月]日本医科大学多摩永山病院にて開催されました。

当会評議員 多摩センタークリニックみらい 副院長 藤井 仁美

去る10月25日(月)19時より日本医科大学附属多摩永山病院にて開催されました。当日の参加者は33名、地域のメディカルスタッフを中心に症例プレゼンテーションとグループディスカッションを中心に行っている研究会です。

今回のテーマは「肥満症と糖尿病」。日本医科大学附属多摩永山病院 小谷英太郎先生、看護師の飯田美佐子さん、薬剤師の亀山明美さんから循環器疾患を合併した糖尿病の一例を示していただきました。

2回の心筋梗塞、その後の心臓カテーテル検査でもさらに狭窄を認めた患者へのマルチプルリスクファクターへの治療、食事指導、服薬アドヒアランスの向上のために出来ることなどといったテーマでディスカッションがなされました。



事務局からのおねがい

■2010年度年会費のお支払いについて■

当研究会の活動は会員の皆様から頂戴する年会費に支えられて成り立っております。今年度分の年会費のお払い込みの確認が取れていない方には昨年12月にお振込用紙を再度送らせていただいております。まだお済みでない方はぜひお早めにお払い込みをお願い申し上げます。皆様のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

研究会他のお知らせ

直接事業
 間接事業
 その他

◆ 第8回 西東京インスリン治療研究会 (※お申し込みは不要です)

開催日時 : 平成23年2月12日(土) 16:00~19:40
 場所 : ザ・クレストホテル立川「桜の間」
 (東京都立川市錦町1-12-1/JR中央線「立川駅」北口徒歩7分)
 参加費 : 医師1,000円 医師以外無料



★西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：4単位

★日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<第2群>：1単位

※会終了後、情報交換会を予定しております。

◆ 第114回 実践栄養指導勉強会 (※お申し込みは不要です)

開催日時 : 平成23年2月15日(火) 18:30~20:20
 場所 : 緑風荘病院併設グリーンボイス1Fダイルーム
 (東京都東村山市萩山町3-31-1/西武多摩湖線「八坂駅」より徒歩1分)
 参加費 : 実践栄養指導勉強会会員無料 一般500円

★西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：2単位

◆ 第1回 薬剤師糖尿病指導研究会 (※お申し込みが必要です)

開催日時 : 平成23年2月26日(土) 15:00~17:30
 場所 : 国立市商業協同組合さくらホール
 (東京都国立市東1-4-6/JR中央線「国立駅」より徒歩3分)
 参加費 : 500円
 申込み : 当会HPよりのお申込書をダウンロードのうえに必要事項をご記入のうえFAXにて申し込み下さい。



★日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<第2群>0.5単位(申請中)

★西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：2単位

◆ 第2回 糖尿病と認知症研究会 (※お申し込みが必要です)

開催日時 : 平成23年3月5日(土) 16:00~18:40
 場所 : 国分寺Lホール(国分寺駅ビル8F)
 (東京都国分寺市南町3-20-3/JR中央線「国分寺駅」下車すぐ)
 参加費 : 無料(当日は軽食をご用意しています。)
 申込み : 同封のお申込書に必要事項をご記入のうえFAXにて申し込み下さい。

★日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<第2群>0.5単位(申請中)

★西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：2単位

NPO法人 西東京臨床糖尿病研究会 事務局
 〒185-0012 国分寺市本町2-23-5 ラフィネ込山No.3-802号
 TEL: 042(322)7468 FAX: 042(322)7478
<http://www.nishitokyo-dm.net> Email:w_tokyo_dm_net@crest.ocn.ne.jp

